

高等学校 令和4年度(2学年用) 教科

芸術 科目 音楽 I

教科: 芸術

科目: 音楽 I

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 2 学年 3 組 ~ 4 組

使用教科書: (教育芸術社 高校生の音楽 I)

教科 芸術 の目標:

【知識及び技能】曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。

【思考力、判断力、表現力等】音楽の要素や関連を覚識し、表現できたり音楽のよさを味わうことができる。

【学びに向かう力、人間性等】音楽や音楽文化と関わり、主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

科目 音楽 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽から換気されるイメージと音楽の構造との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な音楽を形づくっている要素の働きを変化させ演奏する技能を身につける。	メロディを覚識し、その働きを感じながら、どのように音楽を表現し、音楽に対する価値について考え、音楽のよさや美しさを感じながら表現したり聴いたりする。	旋律の変化と雰囲気の変化との関わりに関心を持ち、主体的・協働的に創作や鑑賞活動に取り組むとともに、音楽に対する感性を育み、音楽を愛好する心情を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創						
1 学 期	①発声方法と歌唱表現を身につけて、豊かな表現で歌う。 ②楽譜の読み方・書き方をまなび、読譜力を身につける。	・ベルカント唱法を基本とした発声練習 ・校歌・独唱歌・合唱曲の表現方法 ・楽典 楽譜の正しい読み方書き方を身につけて表現を生かすこと	○			○	観察 課題 学習プリント	○	○	○	6
	①外国語の発音や特徴を理解し、歌詞の内容や曲調にあった表現を身につける。 ②鑑賞をとおして音楽の諸要素を理解して音楽のよさを理解する。	・芸術歌曲の表現方法 イタリア歌曲の性格を捉え、表現方法について学び歌うこと ・イタリア音楽について理解し、歴史・言語も学びながら楽曲を鑑賞すること	○			○	観察 課題 学習プリント 小テスト	○	○	○	10
	①器楽合奏を通して曲にふさわしい奏法や技術を身につける。	ギターの正しい奏法を身につけ、演奏の基本を学ぶ。TAB譜を見ながらギター演奏をすること		○			観察 課題 学習プリント 実技試験	○	○	○	10
	①リズム合奏を通してリズムパターンを覚えていろいろなリズムを理解する。	豊かな音色になるよう、様々な打楽器を組み合わせて演奏し、アンサンブルを楽しみながら合奏すること		○			観察 課題 学習プリント 確認テスト	○	○	○	6
2 学 期	①合唱を通して美しいハーモニーを感じながら歌唱する。	・ハーモニーを感じながら合唱すること ・パートに分かれて歌唱練習をすること ・美しい発音で、歌詞の内容や背景を理解し、情景を思い浮かべながら歌唱表現を工夫すること	○				観察 課題 学習プリント 実技試験	○	○	○	10
	①器楽アンサンブルを通して、曲調や特徴を理解して自分なりの表現で演奏をしよう ②創作を楽しもう。	・曲調にふさわしい表現になるよう工夫をすること ・音楽の特徴を生かしながらアンサンブルをすること ・イメージにあった創作工夫を生かして表現できるよう音楽理論を理解した上で創作活動を行うこと		○	○		観察 課題 学習プリント 確認テスト	○	○	○	10

3 学 期	①絵本の主題歌を作ってみよう。	・絵本を選んで、内容に合った歌詞とメロディを考え、自分が表現したい世界感を表現すること 自己のイメージをもって創意工夫して音楽をつくること				○	観察 課題 学習プリント 作品発表	○	○	○	10
	①伝統音楽の鑑賞をとおして文化的背景・歴史的背景を学ぶ。	・雅楽・能・箏曲・尺八など、さまざまな日本の伝統音楽について学び、楽曲を鑑賞しながら伝統音楽への理解を深めること				○	観察 課題 学習プリント 確認テスト	○	○	○	8
											合計
											70